aigo

aigo SiLK プロジェクター petit PT6116

取 扱 説 明 書

本書には、重要な注意事項や製品のお取り扱い方法が記載されています。よくお読みのうえ、製品を正しく安全にお使いください。お読みになったあとは、大切に保管してください。

もくじ

安全に関するご注意 5
パッケージ内容 8
各部の名称 9
ご使用の前に 11
三脚を取り付ける 11
プロジェクターを設置する 11
microSDカードを使う 12
○使用時のご注意 12
microSDカードをセットする 13
電源について 14
内蔵充電池を充電する 14
電源のオン/オフ 16
ピント調節 16
ナビゲーションボタンの操作方法 16
日付/時間の設定 17
メニューを切換える 18
○メニュー画面の基本操作 18
ムービー 19
動画ファイルを選択する 19
ムービープレーヤーの操作 20
○ムービープレーヤーのクイック設定 21
ムービーの設定 21
ミュージック 22
音声ファイルを選択する 22
○全ファイルから選択する 22
○内蔵メモリから選択する 23
○microSDカードから選択する 23
○ID3タグ情報で選択する 24
○お気に入りから選択する 24

ミュージックプレーヤーの操作……25
○ミュージックプレーヤのクイック設定 ……26
ミュージックの設定 ……26
ピクチャー……27
静止画ファイルを選択する ……27
静止画ファイルを再生する ……27
ピクチャーの設定 ……28
テキスト……29
テキストファイルを選択する……29
テキストファイルを再生する……30
○ブックマークの設定 ……30
テキストの設定 ……31
ファイルマネージャー ……34
ファイルを選択する ……34
ファイルのメニューでの操作……35
○開く……35
○コピー……35
○削除 ……36
○移動 ……36
ツールボックス……37
プロジェクター環境を設定する ……37
世界の時間 ……40
テトリス ……40
パソコンと接続する……41
データの取り込み手順……41
○Windowsでの取り込み ……42
テレビと接続する……44
AVケーブルでテレビと接続する ……44
イヤフォンやヘッドフォンと接続する……45
お手入れ ……46
○レンズのクリーニング ……46

○プロジェクターのクリーニング ……46
トラブルシューティング ……47
製品の仕様 ……49
○パソコン接続環境 ……50
アフターサービス ……51
○製品に関するお問い合わせ ……51

安全に関するご注意

お使いになる前に、必ずお読みください。

本製品を安全に正しくご使用していただくため、下記には重要な内容が記載されています。よくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

⚠ **警告**	この表示の項目は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

⚠ **注意**	この表示の項目は、「人が傷害を負う可能性、または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

■図記号の例

図　記　号	図　記　号　の　意　味
	⃠ は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
	❗ は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
	⚠ は、注意（警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

異常や故障のとき　**⚠警告**

●煙が出たり、変なにおいがしたりするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

●内部に水や異物が入ったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

●落としたり、本体を破損したときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

電源プラグを抜く

●電源コードが傷んだり、電源プラグが異常発熱したときは、すぐに電源を切り、プラグが冷えたことを確認してから、コンセントから抜くこと。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

上記の問題等が発生した場合は、電源プラグを抜いた後、サポートセンターにご連絡ください。

設置されるとき　⚠警告

●屋外や風呂、シャワー室など、水のかかる恐れのある場所には置かないこと。
火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

●電源プラグは交流100Vのコンセントに接続すること。
交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。

指示

●ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所や振動のある場所に置かないこと。
本製品が落ちて、けがの原因となります。

●移動する場所間で温度差が大きい場合は、表面や内部に結露することがあります。結露した状態で使用すると、発煙、発火や感電の原因となります。
使用する場所で、数時間そのまま放置してからご使用ください。

禁止

●上に物を置かないこと。
金属類や、花びん・コップ・化粧品などの液体が入った場合、火災・感電の原因となります。重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。

上載せ禁止

ご使用になるとき　⚠警告

●修理・改造・分解をしないこと。
火災・感電の原因となります。点検・調整・修理は、サポートセンターにご連絡ください。

分解禁止

●スロットや端子などから異物を入れないこと。
金属類や紙などの燃えやすい物が内部に入った場合、火災・感電の原因となります。　特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

異物挿入禁止

●雷が鳴りだしたら、本製品に触れないこと。
感電の原因となります。

接触禁止

●USBケーブルは
○傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしないこと。
○引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしないこと。
○無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしないこと。
火災・感電の原因となります。

禁止

お手入れについて　⚠警告

●電源プラグの刃や刃の取付け面にゴミやほこりが付着している場合は、電源プラグを抜いて、ゴミやほこりをとること。
電源プラグの絶縁低下により、感電の原因となります。

指示

設置されるとき　⚠注意

●温度の高い場所に置かないこと。
直射日光の当たる場所・締め切った自動車内・ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因となることがあります。また、破損、その他部品の劣化や破損の原因となることがあります。

●湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないこと。
加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

●風通しの悪い場所に置かないこと。
内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。
○壁に押しつけないでください。
○押し入れや本箱など風通しの悪い場所に押し込まないでください。
○テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。
○じゅうたんやふとんの上に置かないでください。
○仰向け、横倒し、逆さまにしないでください。

●移動させる場合は、電源プラグ・外部との接続コードを外すこと。
電源プラグを抜かずに運ぶと、電源コードが傷つき火災・感電の原因となることや、接続コードなどを外さずに運ぶと、本製品が転倒し、故障やけがの原因となりことがあります。

指示

ご使用になるとき　⚠注意

●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと。
感電の原因となります。

ぬれ手禁止

●旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜くこと。
万一故障したとき、火災の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

●本製品を包装している袋は、お子様の手の届く所に置かないこと。
頭にかぶったりすると、窒息するおそれがあります。

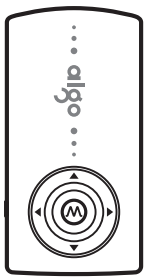
禁止

その他 ご注意

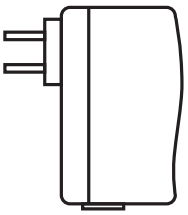
◎本製品およびパソコンの不具合により、データが破損、または消去された場合のデータ内容の補償に対し、当社では一切の責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
◎本製品でのご使用により生じたその他の機器やソフトの損害に対し、当社では一切の責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
◎本製品でのご使用、または使用不能から生じる附随的な損害（事業の利益損失、中断など含む）に対し、当社では一切の責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
◎本書記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。

パッケージ内容

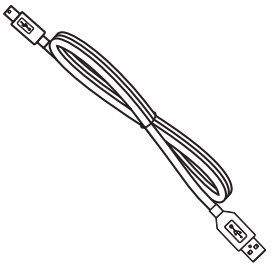
ご使用の前にご確認ください。



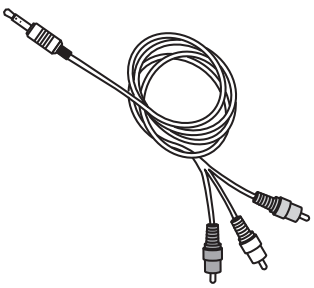
プロジェクター本体



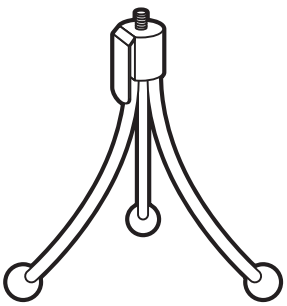
AC電源アダプター



USBケーブル

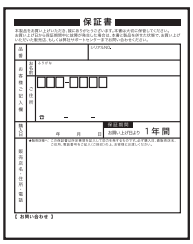


AVケーブル



三脚

取扱説明書(本書)

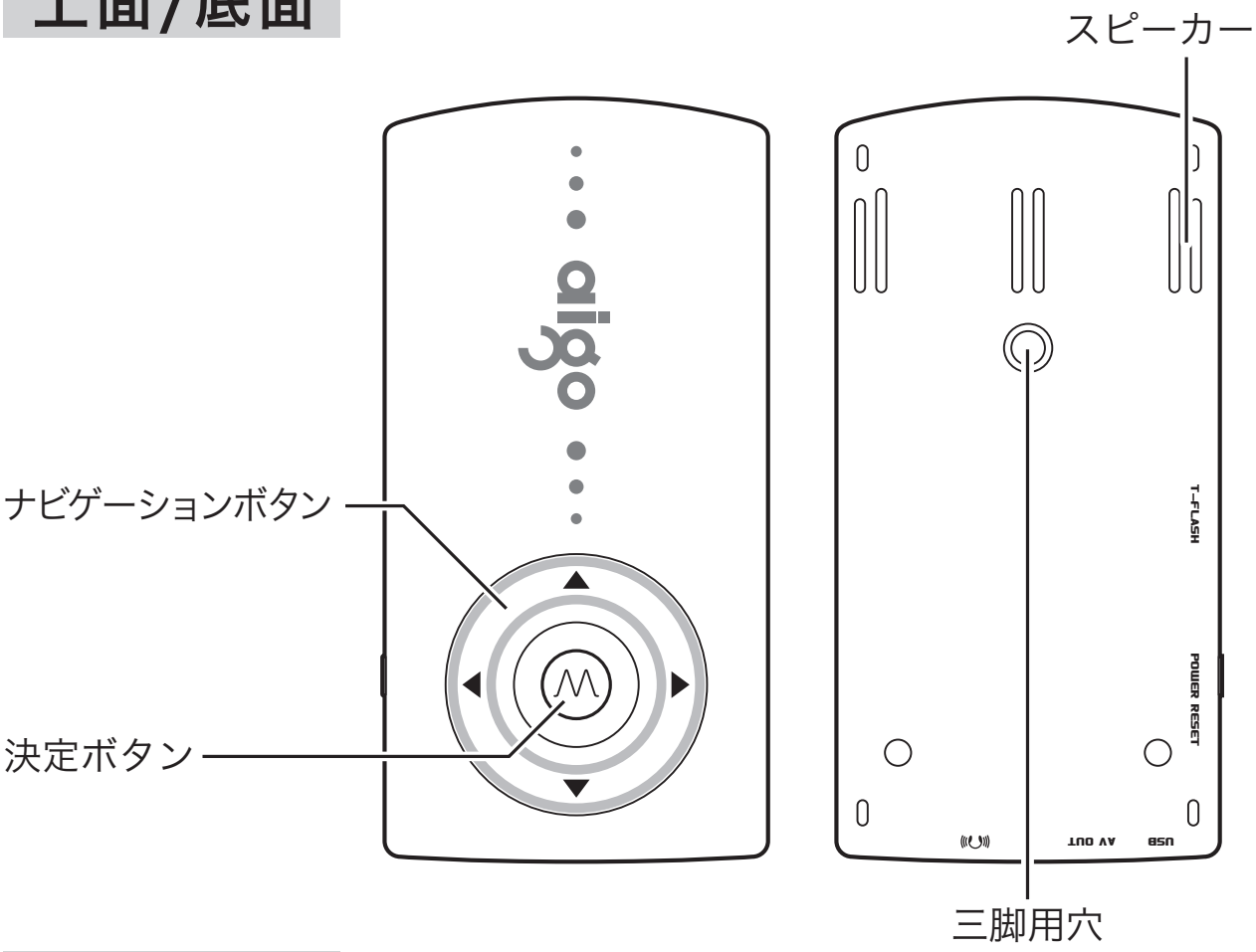


保証書

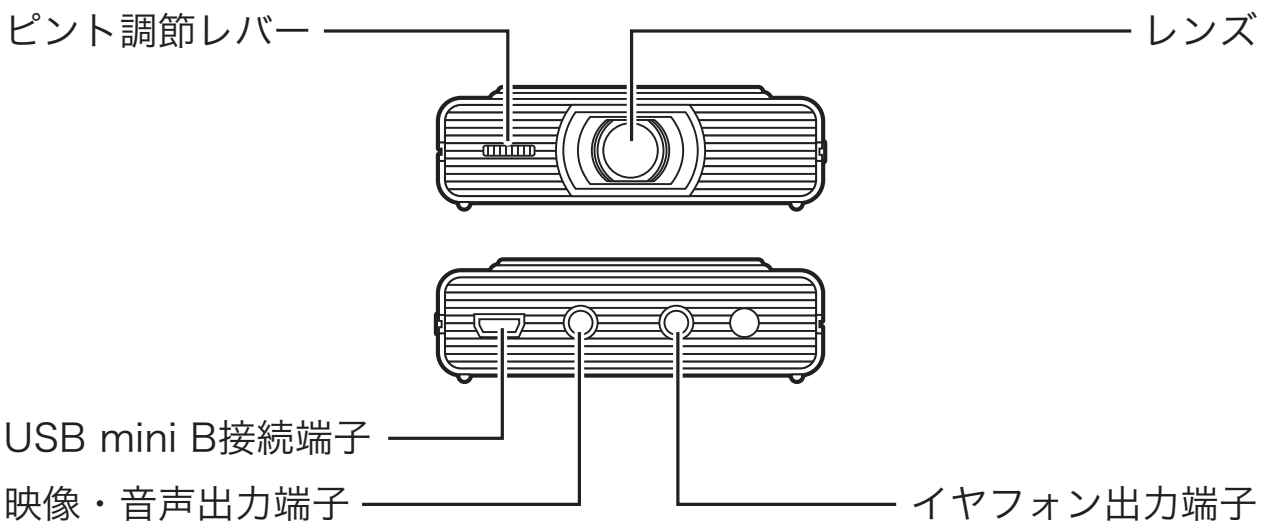
(注)イラストと実際の形状が若干異なる場合があります。

各部の名称

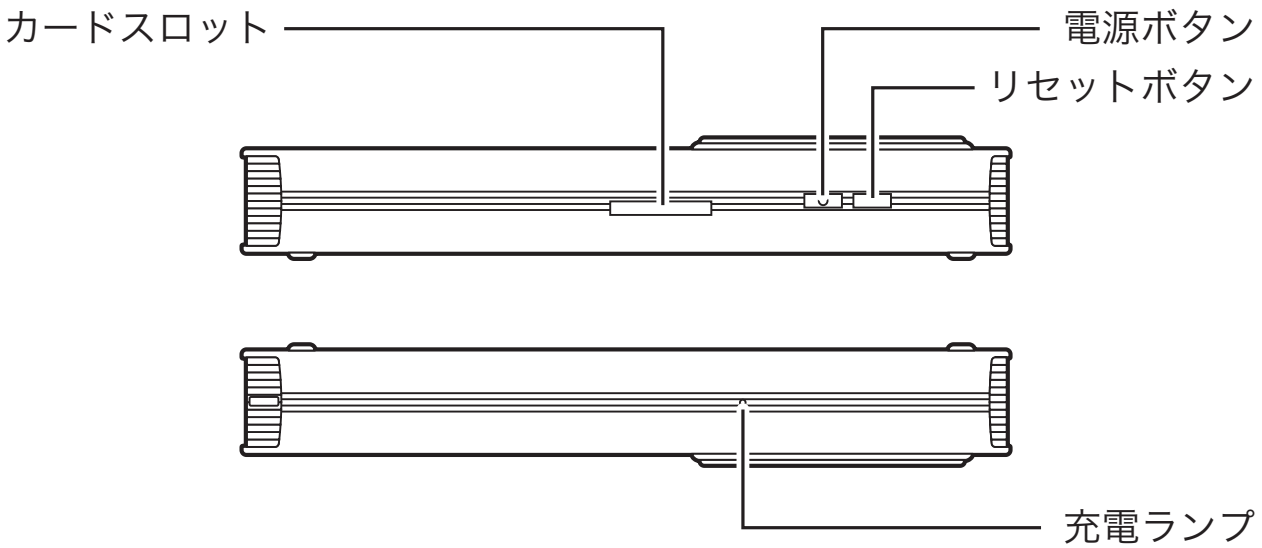
上面/底面



前面/背面



側面

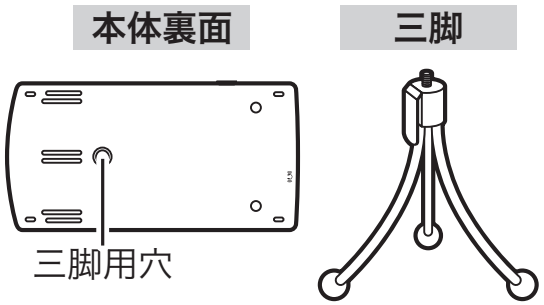


【各ボタンの基本動作】

ボタン名	機　能
電源ボタン	電源をオン／オフします。 ファイルを再生／一時停止します。
リセットボタン	操作中にシステムエラーが起きた場合、本体を再起動します。
決定ボタン	選択した項目を決定します。 動画、音声ファイルの再生中に操作パネルを表示します。
ナビゲーション ▲ボタン	カーソルを上に移動します。 ファイルの再生中に音量を上げます。
ナビゲーション ▼ボタン	カーソルを下に移動します。 ファイルの再生中に音量を下げます。
ナビゲーション ◀ボタン	カーソルを左に移動します。
ナビゲーション ▶ボタン	カーソルを右に移動します。
ピント調節レバー	投影画面のピントを調節します。

三脚を取り付ける

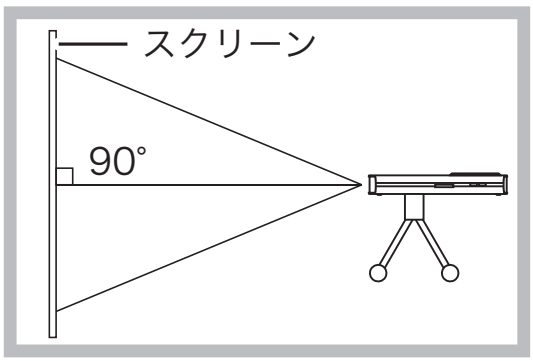
本体裏面の**三脚用穴**に付属の**三脚**を取り付けます。



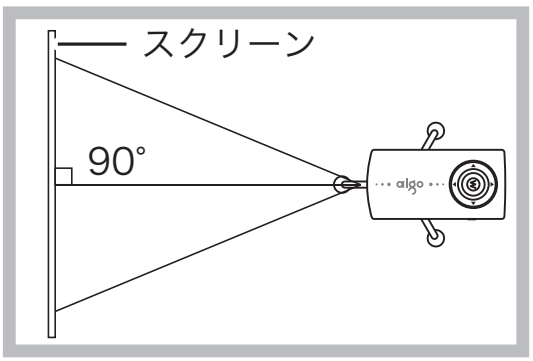
プロジェクターを設置する

プロジェクターはスクリーンに対して上下左右の方向を、なるべく垂直になるように設置してください。

【横から見た図】



【上から見た図】



画面のサイズがご希望の大きさになるように投影距離を調整してください。

投影画面サイズ(対角)(インチ)	投影距離(m)
7	約0.37
10	約0.51
20	約1.01
30	約1.51
40	約2.04
50	約2.5

microSDカードを使う

microSD/SDHCカードをプロジェクター本体にセットする(P.13参照)と、microSD/SDHCカードに保存された動画ファイルや静止画ファイル、音声ファイル、テキストファイルを再生することができます。

microSDカード(別売・128MB〜2GBまで)対応。
microSDHCカード(別売・4GB〜8GBまで)対応。

使用時のご注意

電源オンの状態でカードを取り外さない

カードの着脱をする場合は、必ずプロジェクターの電源をオフにしてください。電源がオンの状態でおこなうと、データの破損、およびプロジェクターの故障の原因になります。

接続・転送中にカードを取り外さない

プロジェクターとパソコンを接続したり、パソコンへデータを転送している最中に、カードをプロジェクターから取り外さないでください。記録されているデータ、カード、プロジェクターが破損する恐れがあります。

その他のご注意

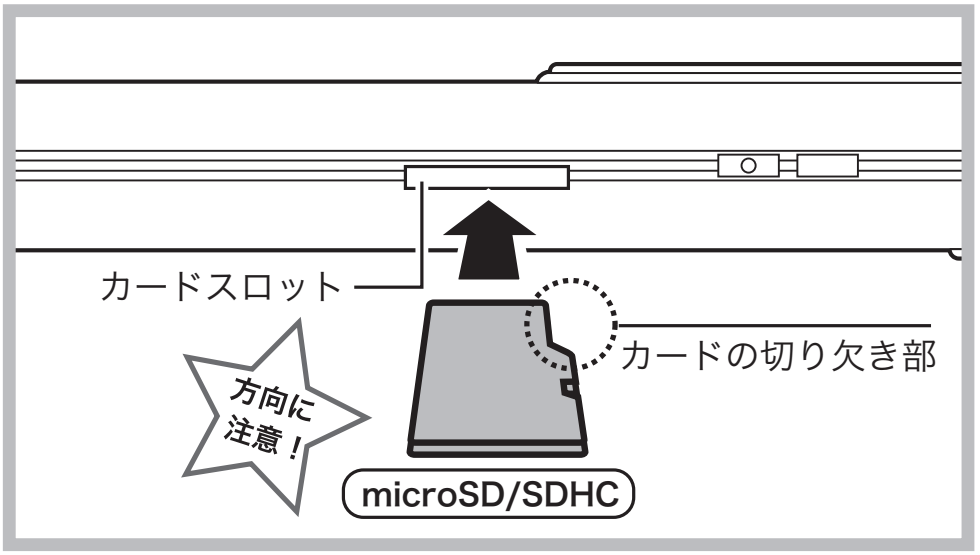
○カードは精密機器です。乱暴に扱わないでください。また、静電気をおびていると、認識されなかったり、プロジェクターが誤作動する場合があります。

○カードを使用中、誤作動や故障により記録データが失われる場合があります。その場合、故障や損害の原因、内容に関わらず、当社では一切の責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

○カードに異常がある場合は、フォーマット(初期化)することで正常になる場合があります。(フォーマットを行うと、記録されているデータはすべて失われます。予めご了承の上でフォーマットを行ってください。)フォーマットはパソコンでおこなってください。

microSDカードをセットする

microSD/SDHCカードは**カードスロット**に差し込みます。



①プロジェクターの電源がオフになっていることを確認します。

②カードは方向に注意して、カードスロットに、カチッと音がなるまでしっかりと差し込みます。

③プロジェクターの電源をオンにします。画面の右上にアイコンが表示されます。

◆microSD/SDHCカードを取り外すときは、指で軽く押すとカードが跳ね上がり、引き抜くことができます。

電源について

本製品は内蔵充電池で動作します。内蔵充電池の充電は同梱の**AC電源アダプター**と**USBケーブル**を使用し、家庭用コンセントやPC等のUSB電源と接続しておこないます。接続したままで充電しながらの動作も可能です。

内蔵充電池を充電する

⚠警告

・AC電源アダプターは家庭用交流100Vのコンセントに接続してください。
交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。

指示

⚠注意

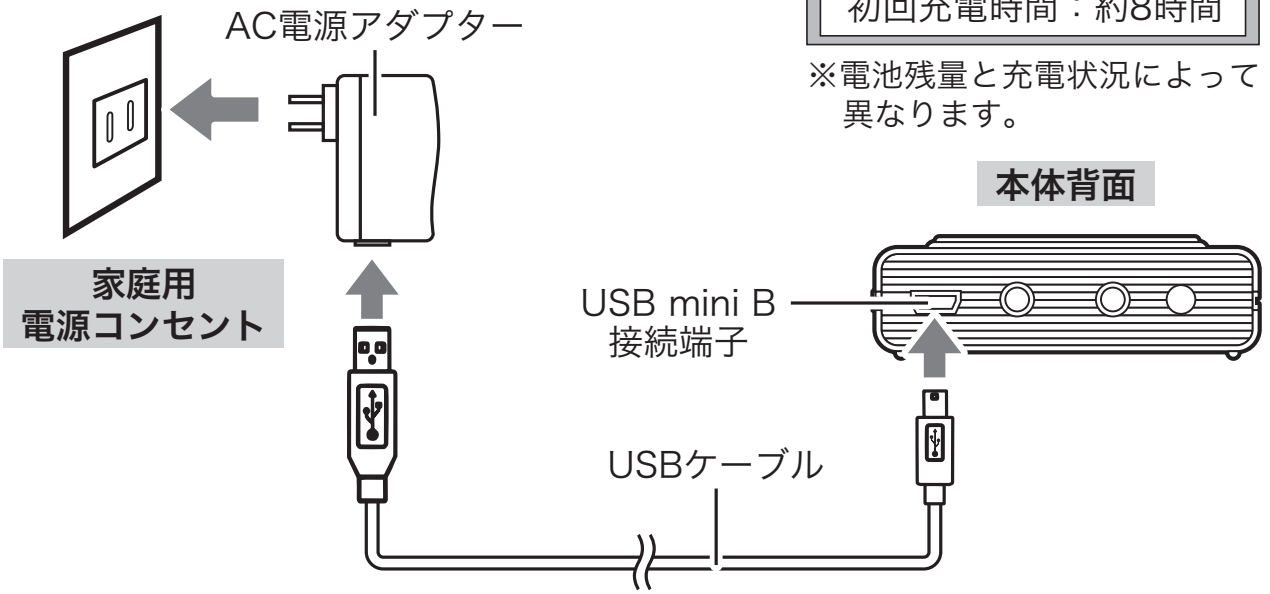
・濡れた手で電源プラグを抜き差ししないこと。感電の原因となることがあります。
・USBケーブルの各端子は、接続したときに、完全に根元まで差し込まれていることを確認してください。
・AC電源アダプターは熱くなることがありますが、故障ではありません。
・AC電源アダプターを分解したり、改造したりしないでください。内部には高電圧の部分があり、感電の原因となります。

ぬれ手禁止

【AC電源での充電】

充電時間：約4時間
初回充電時間：約8時間

※電池残量と充電状況によって異なります。



①プロジェクター本体とAC電源アダプターをUSBケーブルで接続します。

②AC電源アダプターを家庭用電源コンセントに接続します。

③家庭用コンセントに接続すると、本体側面の充電ランプが青色に点灯し、プロジェクター本体は充電中の画面を投影します。充電中の画面はしばらくすると消え、プロジェクター本体は充電状態となります。

④充電中にいずれかのボタンを押すと再び充電中の画面が表示されます。その状態で**電源ボタン**を押すとメインメニュー画面となり、プロジェクターは充電中でも使用可能です。

⑤本体側面の充電ランプが消灯すると充電完了です。

【USB給電での充電】

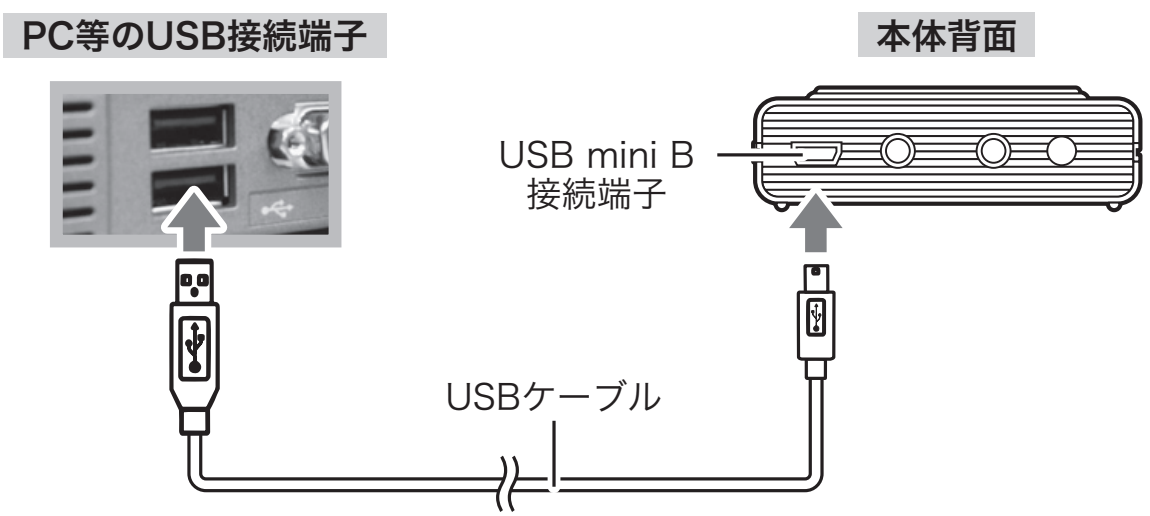
①プロジェクター本体とUSBケーブルを接続します。

②電源がオンの状態のPC等のUSB接続端子にUSBケーブルを接続します。

③本体側面の充電ランプが青色に点灯し、プロジェクター本体はUSB接続中の画面を投影します。USB接続中の画面はしばらくすると消え、プロジェクター本体は充電状態となります。

④充電中にいずれかのボタンを押すと再びUSB接続中の画面が表示されます。その状態で**電源ボタン**を押すと充電中の画面が表示され、再度**電源ボタン**を押すとメインメニュー画面となります。

⑤本体側面の充電ランプが消灯すると充電完了です。

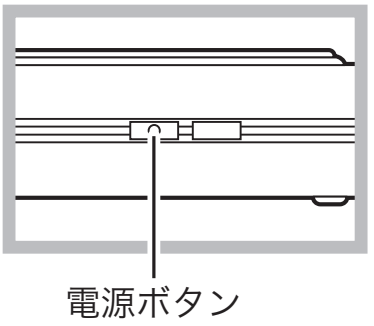


電源のオン/オフ

電源をオンにするには、本体側面の**電源ボタン**を押します。

電源をオフにするには、終了画面が表示されるまで**電源ボタン**を長押しします。

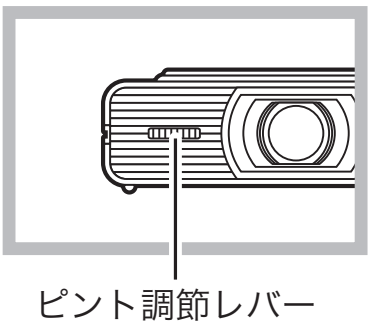
本体側面



ピント調節

画面のピントを調節するには、本体前面の**ピント調節レバー**を左右にスライドさせて調節してください。

本体前面



ナビゲーションボタンの操作方法

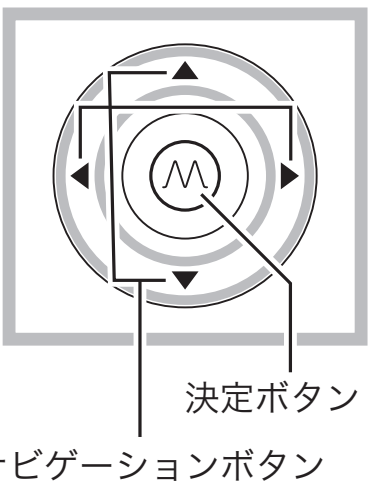
項目の選択、設定の決定操作は、**ナビゲーションボタン**を使用します。**ナビゲーションボタン**を▲▼◀▶方向に押してメニュー項目の選択が可能。**決定ボタン**を押す事で、選択した設定を確定させる事が可能です。

本書では下記に統一して表記します。

○**ナビゲーション▲▼◀▶ボタン**を押す（▲▼◀▶方向の指定時）。

○**決定ボタン**を押す（設定の確定時）。

本体上面



日付/時間の設定

ご使用の前に、**日付と時間の設定**をおこないます。

①電源をオンにするとメインメニュー画面が表示されます。**ナビゲーション◀▶ボタン**を押して、『ツールボックス』を選択し**決定ボタン**を押します。

②メニュー項目画面が表示されます。**ナビゲーション▲▼ボタン**で『世界の時間』を選択し、**決定ボタン**を押します。

③世界の時間画面が表示されます。**ナビゲーション▶ボタン**を押すと世界の時間の一覧を表示します。**ナビゲーション▲▼ボタン**で『東京、ソウル』を選択し、**決定ボタン**を押します。

④再度、世界の時間画面が表示されます。『東京、ソウル』を選択し、**決定ボタン**を押します。

⑤日付の設定画面が表示されます。**ナビゲーション◀▶ボタン**で『年』に移動し、**ナビゲーション▲▼ボタン**で数値を入力します。

⑥同様に『月』、『日』、『時』、『分』の各項目の数値を全て入力します。

⑦**決定ボタン**を押すと世界の時間画面に戻り、設定が確定します。

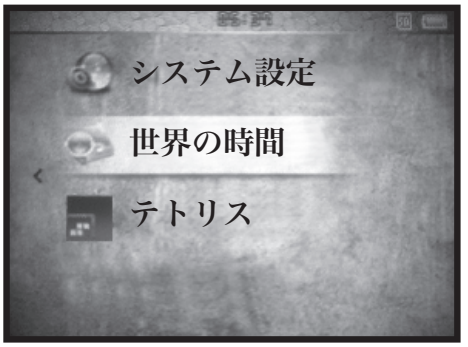
⑧**ナビゲーション◀ボタン**を必要な回数押してメインメニュー画面に戻ります。

◆内蔵充電池の電池がなくなると本設定は失われます。その都度設定をおこなってください。

◆『タイムゾーンの設定』(P.38参照)を『東京、ソウル』に設定しないと、デスクトップの時計は日本時間になりません。

【メインメニュー画面】

【メニュー項目画面】



【世界の時間画面】

【日付の設定画面】

メニューを切換える

各種ファイルの再生、メモリとファイル管理、プロジェクター本体の設定は、メインメニュー画面でメニューを切換えておこないます。

【メニュー項目】

- **：ツールボックス**
  プロジェクター本体の設定。
- **：カレンダー**
  カレンダーの表示。
- **：ピクチャー**
  静止画ファイルの再生。
- **：ライト**
  ライトとして使用できます。
- **：ムービー**
  動画ファイルの再生。
- **：ファイルマネージャー**
  ファイル管理や再生。
- **：ミュージック**
  音声ファイルの再生。
- **：テキスト**
  テキストファイルの再生。

メニュー画面の基本操作

①電源をオンにするとメインメニュー画面が表示されます。**ナビゲーション◀▶ボタン**を押して、メニューを選択し**決定ボタン**を押します。

②メニュー項目画面が表示されます。**ナビゲーション▲▼ボタン**で設定したいメニュー項目を選択し、**決定ボタン**、または**ナビゲーション▶ボタン**を押すと設定が確定します。

③サブメニュー項目が表示される場合は、**ナビゲーション▲▼ボタン**で設定したいサブメニュー項目を選択し、**決定ボタン**、または**ナビゲーション▶ボタン**を押すと設定が確定します。

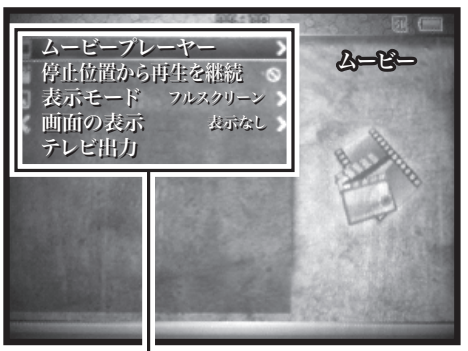
④設定が確定したものには『✔』のアイコン、設定が解除されたものには『⃠』のアイコンが表示される場合があります。

⑤**ナビゲーション◀ボタン**を必要な回数押してメインメニュー画面に戻ります。

【メインメニュー画面】

メニュー

【メニュー項目画面】



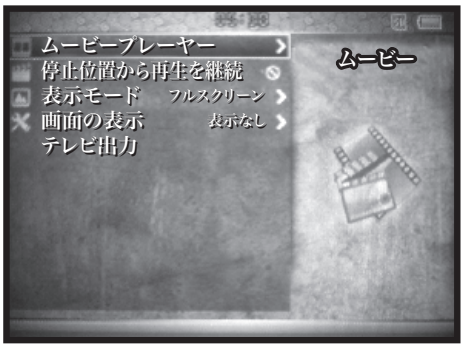
メニュー項目

ムービー

動画ファイルの再生は**『ムービー』**でおこないます。
RM/RMVB、WMV、FLV、AVI、MP4、MPEG2、3GP、DAT、ASFのファイル形式が再生可能です。720pまでサポートしています。

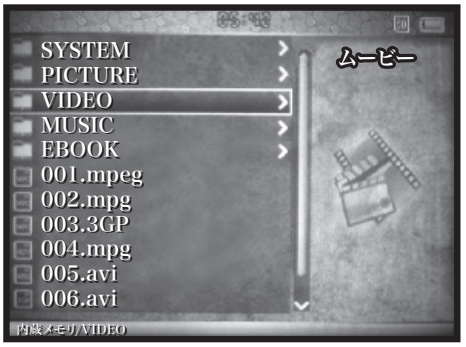
動画ファイルを選択する

①メインメニュー画面で**ナビゲーション◀▶ボタン**を押して『ムービー』を選択し、**決定ボタン**を押します(P.18参照)。



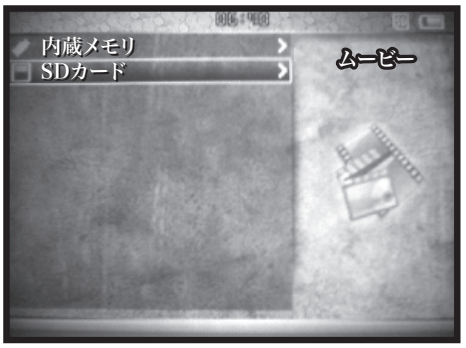
②『ムービー』のメニュー項目画面が表示されます。**ナビゲーション▲▼ボタン**で『ムービープレーヤー』を選択し、**決定ボタン**、または**ナビゲーション▶ボタン**を押します。

③内蔵メモリの『VIDEO』フォルダに保存されている動画ファイルが一覧表示されます。**ナビゲーション▲▼ボタン**で再生したい動画ファイルを選択します。

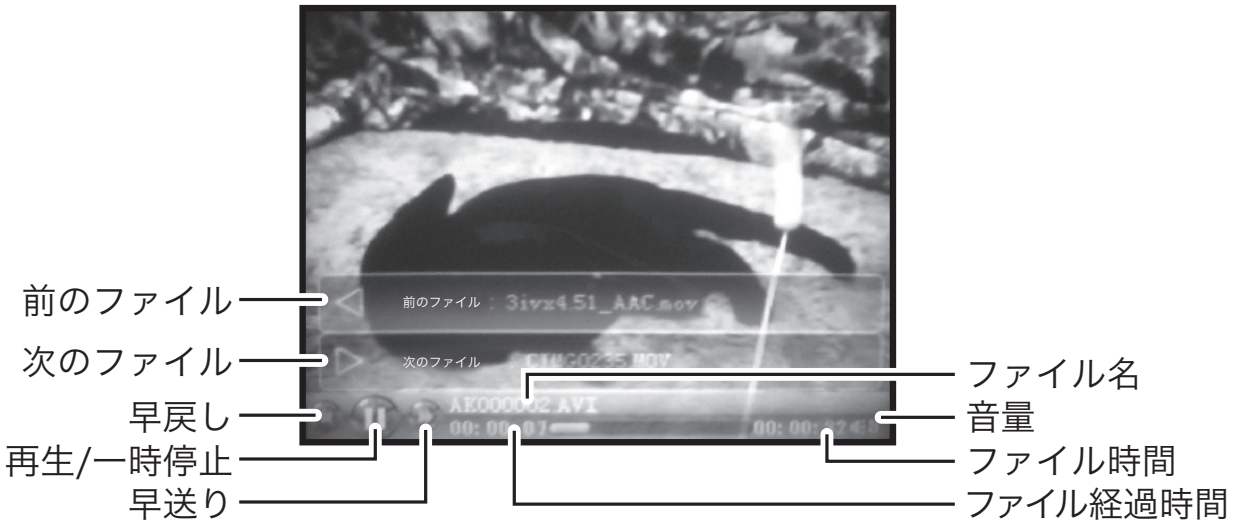


④『VIDEO』フォルダ以外に保存されている動画ファイルを選択するには、**ナビゲーション◀ボタン**を押すと各種フォルダや動画ファイルが一覧表示されます。**ナビゲーション▲▼ボタン**で再生したい動画ファイルを選択します。

⑤microSDカードに保存された動画ファイルを選択するには**ナビゲーション◀ボタン**を押してメモリの切換え画面を表示し、**ナビゲーション▲▼ボタン**で『SDカード』を選択し、**決定ボタン**、または**ナビゲーション▶ボタン**を押すと、microSDカードに保存された動画ファイルやフォルダが一覧表示されます。**ナビゲーション▲▼ボタン**で再生したい動画ファイルを選択します。



ムービープレーヤーの操作



再生/一時停止

決定ボタン、または**電源ボタン**を押すと動画ファイルの再生が開始されます。

再生中に**電源ボタン**を押すと再生が一時停止されます。再度**電源ボタン**を押すと再生が再開されます。

一時停止中に**決定ボタン**を押すと再生が停止されます。

早送り/早戻し

ナビゲーション▶ボタンを長押ししている間、再生を早送りします。**ナビゲーション◀ボタン**を長押ししている間、再生を早戻しします。

◆早送り/早戻し中は音声は再生されません。

音量の調節

ナビゲーション▲ボタンを押すと音量が上がり、**ナビゲーション▼ボタン**を押すと音量が下がります。

ファイルのスキップ

再生中に**ナビゲーション▶ボタン**を押すと次の動画ファイルにスキップし再生します。再生中に**ナビゲーション◀ボタン**を押すと前の動画ファイルにスキップし再生します。

停止

決定ボタンを押すとコントロールパネルが表示されます。**ナビゲーション▲▼ボタン**で『停止』を選択し、**決定ボタン**、または**電源ボタン**を押すと再生が停止されます。

◆再生を停止せずにコントロールパネルの表示を解除するには**ナビゲーション◀ボタン**を押します。

ムービープレーヤーのクイック設定

再生中に**決定ボタン**を押すと、ムービープレーヤーの色々な設定ができるコントロールパネルが表示されます。各項目の詳細は次項「ムービーの設定」を参照してください。

コントロールパネルの表示を解除するには**ナビゲーション◀ボタン**を押します。

ムービーの設定

停止位置から再生を継続

オンに設定すると、ファイルの再生前に確認画面が表示されます。『はい』を選ぶと前回停止したところから再生を再開します。『いいえ』を選ぶとファイルの最初から再生を開始します。

表示モード

表示方法を設定します。

■ **オリジナルサイズ / ノーマル / フルスクリーン**

画面の表示

再生中の画面表示を設定します。

■ **表示なし / 操作パネルを表示 / 再生時間の表示 / 字幕表示**

テレビ出力

テレビ接続(→P.44)の際に、あらかじめテレビの信号方式を選びます。日本で使用する場合はNTSCを選択します。

■ **LCD / PAL / NTSC**

NTSC	**日本**、韓国、台湾、アメリカ、カナダなど
PAL	中国、イギリス、ドイツ、イタリア、インドネシアなど

ミュージック

音声ファイルの再生は**『ミュージック』**でおこないます。
MP3、WMA、APE、FLAC、AAC、AMR、M4A、RA、OGG、WAVのファイル形式が再生可能です。

音声ファイルを選択する

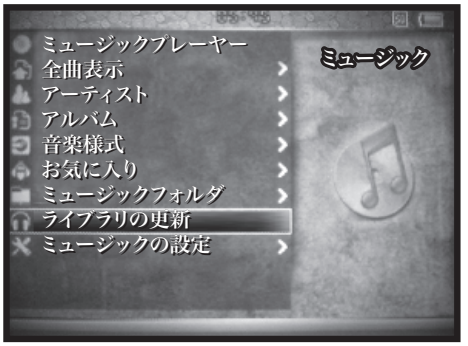
全ファイルから選択する

①メインメニュー画面で**ナビゲーション◀▶ボタン**を押して『ミュージック』を選択し、**決定ボタン**を押します（P.18参照）。

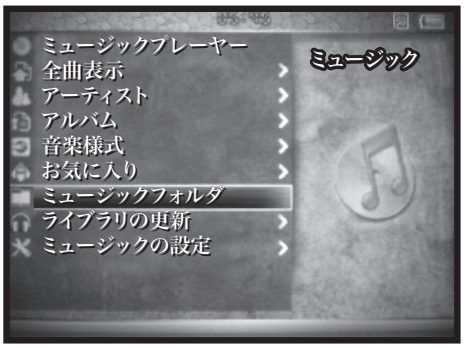
②『ミュージック』のメニュー項目画面が表示されます。最初に**ナビゲーション▲▼ボタン**で『ライブラリの更新』を選択し、**決定ボタン**を押します。

◆ファイルをコピーしたり、追加、削除した場合は、その都度『ライブラリの更新』をおこなってください。

③**ナビゲーション▲▼ボタン**で『全曲表示』を選択し、**決定ボタン**、または**ナビゲーション▶ボタン**を押します。内蔵メモリ、microSDカード共に、全ての音声ファイルが一覧表示されます。**ナビゲーション▲▼ボタン**で再生したい音声ファイルを選択します。

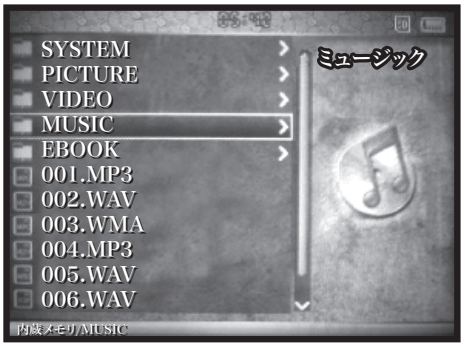


内蔵メモリから選択する



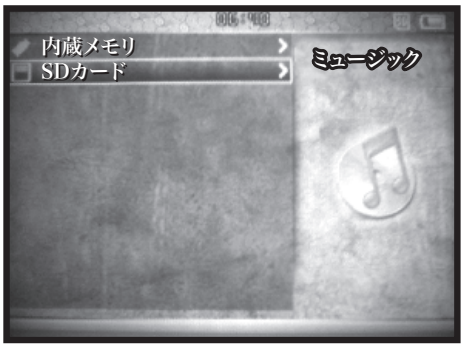
①メインメニュー画面で**ナビゲーション◀▶ボタン**を押して『ミュージック』を選択し、**決定ボタン**を押します(P.18参照)。

②メニュー項目画面から**ナビゲーション▲▼ボタン**で『ミュージックフォルダ』を選択し、**決定ボタン**、または**ナビゲーション▶ボタン**を押します。内蔵メモリの『MUSIC』フォルダに保存されている音声ファイルが一覧表示されます。**ナビゲーション▲▼ボタン**で再生したい音声ファイルを選択します。



③『MUSIC』フォルダ以外に保存されている音声ファイルを選択するには、**ナビゲーション◀ボタン**を押すと各種フォルダや音声ファイルが一覧表示されます。**ナビゲーション▲▼ボタン**で再生したい音声ファイルを選択します。

microSDカードから選択する

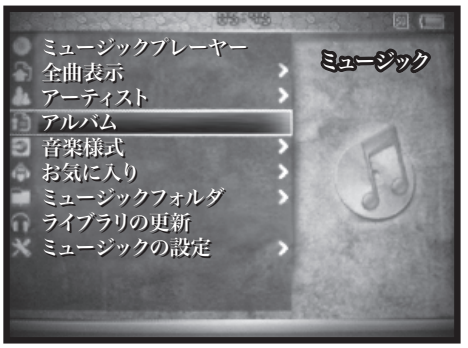


①メインメニュー画面で**ナビゲーション◀▶ボタン**を押して『ミュージック』を選択し、**決定ボタン**を押します(P.18参照)。

②メニュー項目画面から**ナビゲーション▲▼ボタン**で『ミュージックフォルダ』を選択し、**決定ボタン**、または**ナビゲーション▶ボタン**を押します。内蔵メモリの『MUSIC』フォルダに保存されている音声ファイルが一覧表示されます。

③**ナビゲーション◀ボタン**を押してメモリの切換え画面を表示し、**ナビゲーション▲▼ボタン**で『SDカード』を選択し、**決定ボタン**、または**ナビゲーション▶ボタン**を押すと、microSDカードに保存された音声ファイルやフォルダが一覧表示されます。**ナビゲーション▲▼ボタン**で再生したい音声ファイルを選択します。

ID3タグ情報で選択する



音声ファイルはID3タグ情報で、メニュー項目の『アーティスト』、『アルバム』、『音楽様式』に自動的に分類され、それぞれの項目から音声ファイルを選択できます。

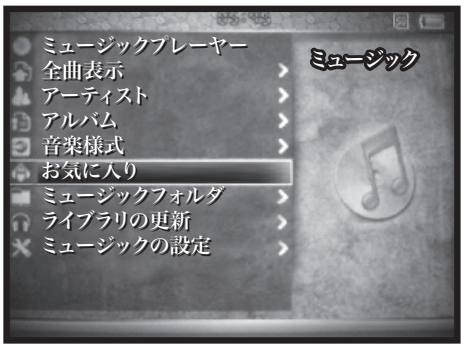
①メインメニュー画面で**ナビゲーション◀▶ボタン**を押して『ミュージック』を選択し、**決定ボタン**を押します(P.18参照)。

②メニュー項目画面から**ナビゲーション▲▼ボタン**で『アーティスト』、『アルバム』、『音楽様式』のいずれかを選択し、**決定ボタン**、または**ナビゲーション▶ボタン**を押します。

③それぞれの分類別に一覧表示されます(ID3タグ情報のないものは『その他』に分類されます)。**ナビゲーション▲▼ボタン**で分類を選択し、**決定ボタン**、または**ナビゲーション▶ボタン**を押します。

④音声ファイルが一覧表示されます。**ナビゲーション▲▼ボタン**で再生したい音声ファイルを選択します。

お気に入りから選択する

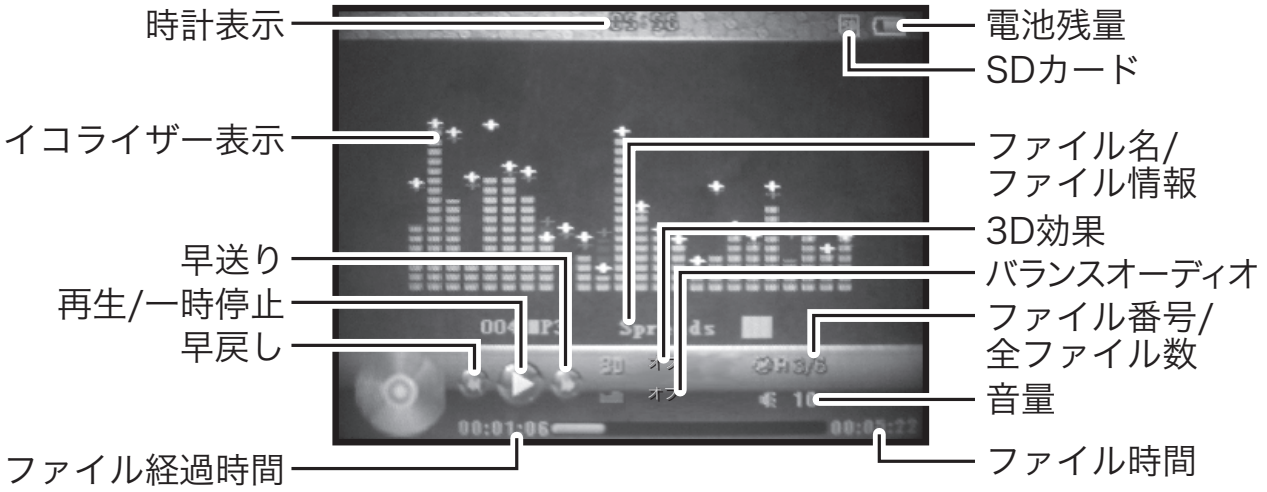


①メインメニュー画面で**ナビゲーション◀▶ボタン**を押して『ミュージック』を選択し、**決定ボタン**を押します(P.18参照)。

②メニュー項目画面から**ナビゲーション▲▼ボタン**で『お気に入り』を選択し、**決定ボタン**、または**ナビゲーション▶ボタン**を押します。

③『お気に入り』に追加(P.26参照)されている音声ファイルが一覧表示されます。**ナビゲーション▲▼ボタン**で再生したい音声ファイルを選択します。

ミュージックプレーヤーの操作



再生/一時停止

決定ボタン、または**電源ボタン**を押すと音声ファイルの再生が開始されます。

再生中に**電源ボタン**を押すと再生が一時停止されます。再度**電源ボタン**を押すと再生が再開されます。

早送り/早戻し

ナビゲーション▶ボタンを長押ししている間、再生を早送りします。**ナビゲーション◀ボタン**を長押ししている間、再生を早戻しします。

◆早送り/早戻し中は音声は再生されません。

音量の調節

ナビゲーション▲ボタンを押すと音量が上がり、**ナビゲーション▼ボタン**を押すと音量が下がります。

ファイルのスキップ

再生中に**ナビゲーション▶ボタン**を押すと次の音声ファイルにスキップし再生します。再生中に**ナビゲーション◀ボタン**を押すと前の音声ファイルにスキップし再生します。

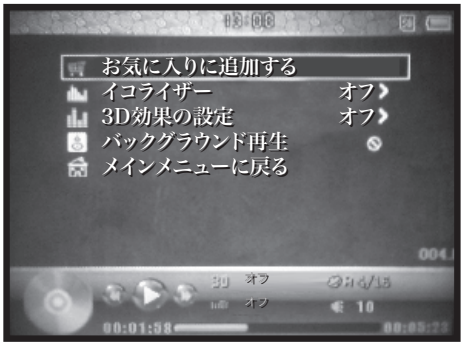
停止

①**決定ボタン**を押すとコントロールパネルが表示されます。**ナビゲーション▲▼ボタン**で『メインメニューに戻る』を選択し、**決定ボタン**、または**電源ボタン**を押すとメインメニュー画面に戻ります。

◆再生を停止せずにコントロールパネルの表示を解除するには**ナビゲーション◀ボタン**を押します。

②**ナビゲーション◀ボタン**を押すと再生が停止されメニュー画面に戻ります。

ミュージックプレーヤーのクイック設定



再生中に**決定ボタン**を押すと、ミュージックプレーヤーの色々な設定ができるコントロールパネルが表示されます。各項目の詳細は次項「ミュージックの設定」を参照してください。

コントロールパネルの表示を解除するには**ナビゲーション◀ボタン**を押します。

お気に入りに追加する

ナビゲーション▲▼ボタンで『お気に入りに追加する』を選択し、**決定ボタン**を押します。メニュー項目の『お気に入り』に追加されます。

ミュージックの設定

再生モード

再生方法を設定します。

■ **1ファイルリピート / 全てリピート / 1ファイル再生 / 順番再生 / ランダム再生**

バックグラウンド再生

オンに設定すると『ピクチャー』、『ツールボックス』、『テキスト』、『ファイルマネージャー』、『カレンダー』の操作、再生時にBGMとして継続再生できます。

◆バックグラウンド再生中はファイルの『コピー』、『削除』、『移動』はできません。

イコライザー

再生時に効果を加えます。

■ **オフ / ポピュラー音楽 / ロック / 重低音 / ダンス / 電子音楽 / カントリーミュージック / ジャズ / クラシック / ブルース / 懐かしの音楽 / オペラ / 会話**

3D効果の設定

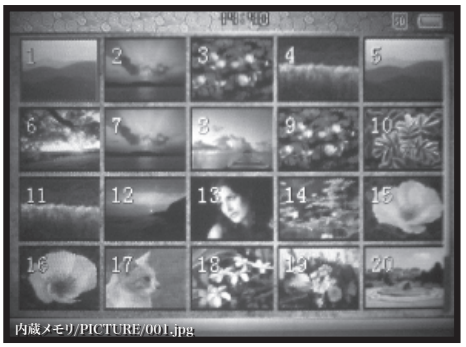
再生時に3D効果を加えます。

■ **オフ / 標準 / オペラホール / 教会 / コンサートホール / シャワー / 室内 / 仮想空間**

ピクチャー

静止画ファイルの再生は**『ピクチャー』**でおこないます。
JPEG、BMP、GIF、PNGのファイル形式が再生可能です。1000万画素まで対応します。

静止画ファイルを選択する



①メインメニュー画面で**ナビゲーション◀▶ボタン**を押して『ピクチャー』を選択し、**決定ボタン**を押します(P.18参照)。

②内蔵メモリの『PICTURE』フォルダに保存されている静止画ファイルがサムネイル表示されます。

◆静止画ファイルは必ず内蔵メモリの『PICTURE』フォルダに置いてください。『PICTURE』フォルダ以外やmicroSDカード内では認識されません。

③選択されている静止画ファイルは赤い枠で表示されます。**ナビゲーション◀▶▲▼ボタン**で再生したい静止画ファイルを選択します。

◆**電源ボタン**を押すとメインメニュー画面に戻ります。

静止画ファイルを再生する

①**決定ボタン**を押すと静止画ファイルの再生が開始されます。

②**ナビゲーション▲ボタン**を押すと前の静止画ファイル、**ナビゲーション▼ボタン**を押すと次の静止画ファイルを再生します。

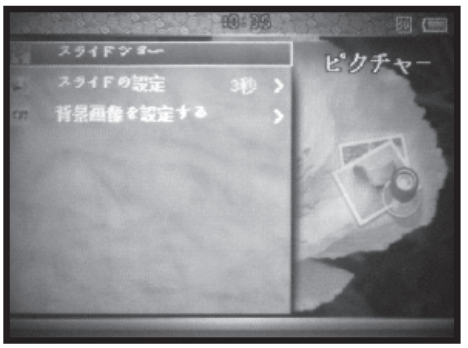
③**電源ボタン**を押すごとに、右回りに90°ずつ回転します。

④**ナビゲーション◀ボタン**を押すと再生は停止され、メインメニュー画面に戻ります。

ピクチャーの設定

再生中に**ナビゲーション▶ボタン**を押すと、『ピクチャー』の色々な設定ができるコントロールパネルが表示されます。

コントロールパネルの表示を解除するには**ナビゲーション◀ボタン**を押します。



スライドショー

決定ボタン、または**電源ボタン**を押すと、全静止画ファイルをスライドショー再生します。

◆スライドショー再生は再度**ナビゲーション▶ボタン**を押してコントロールパネルを表示させ、『停止』を選択し、**決定ボタン**を押すまで継続されます。

スライドの設定

スライドショーの再生間隔を設定します。

■ 2秒 / 3秒 / 5秒 / 8秒 / 15秒

背景画像を設定する

再生中の静止画ファイルを各種メニューの背景に設定します。

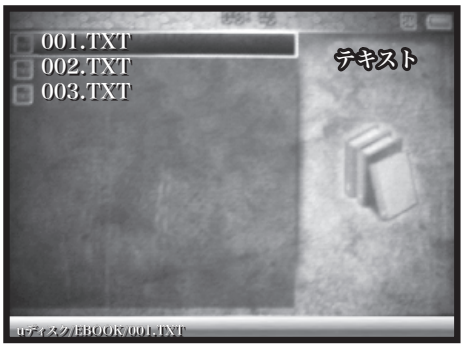
■ ミュージックの背景 / テキストの背景

テキスト

テキストファイルの再生は**『テキスト』**でおこないます。
TXTのファイル形式が再生可能です。

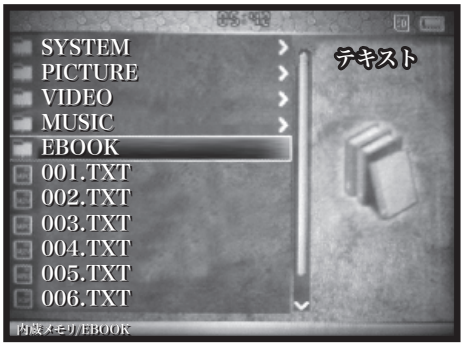
テキストファイルを選択する

①メインメニュー画面で**ナビゲーション◀▶ボタン**を押して『テキスト』を選択し、**決定ボタン**を押します(P.18参照)。

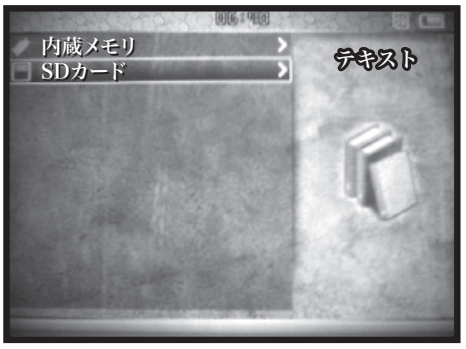


②内蔵メモリの『EBOOK』フォルダに保存されているテキストファイルが一覧表示されます。**ナビゲーション▲▼ボタン**で再生したいテキストファイルを選択します。

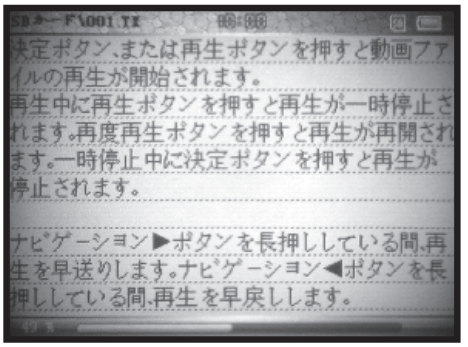
③『EBOOK』フォルダ以外に保存されているテキストファイルを選択するには、**ナビゲーション◀ボタン**を押すと各種フォルダやテキストファイルが一覧表示されます。**ナビゲーション▲▼ボタン**で再生したいテキストファイルを選択します。



④microSDカードに保存されたテキストファイルを選択するには**ナビゲーション◀ボタン**を押してメモリの切換え画面を表示し、**ナビゲーション▲▼ボタン**で『SDカード』を選択し、**決定ボタン**、または**ナビゲーション▶ボタン**を押すと、microSDカードに保存されたテキストファイルやフォルダが一覧表示されます。**ナビゲーション▲▼ボタン**で再生したいテキストファイルを選択します。



テキストファイルを再生する



①**決定ボタン**を押すとテキストファイルの再生が開始されます。

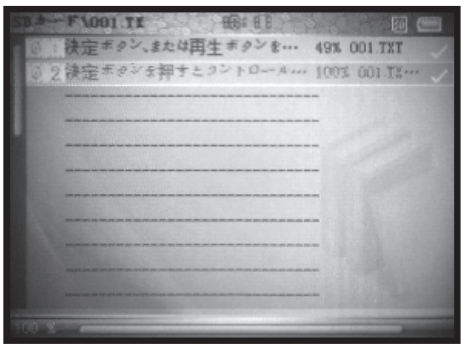
②**ナビゲーション▲ボタン**を押すと前の画面、**ナビゲーション▼ボタン**を押すと次の画面にスクロールします。

③**電源ボタン**を押すと次の行に自動スクロールします。自動スクロールを停止するには再度**電源ボタン**を押します。

④**ナビゲーション◀ボタン**を押すと再生は停止され、メインメニュー画面に戻ります。

◆次回『テキスト』を使用すると、前回ファイルの終了地点から再生します。

ブックマークの設定



テキスト量の多いファイルは、任意の場所でブックマークを設定すると、その場所を直接表示できます。

①再生中に**決定ボタン**を押すとブックマークの一覧画面が表示されます。

②再度**決定ボタン**を押すとブックマークの設定項目が表示されます。**ナビゲーション▲▼ボタン**で『ブックマークを設定する』を選択し、再度**決定ボタン**を押すとブックマークが設定されます。

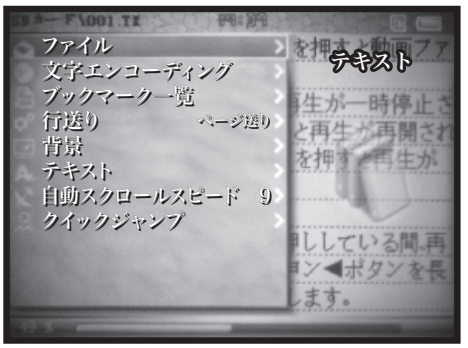
③新しいブックマークを設定するには②で**ナビゲーション▲▼ボタン**で空いている場所を指定し、**決定ボタン**を押すとブックマークが設定されます。

④**ナビゲーション◀ボタン**を押すと再生画面に戻ります。

テキストの設定

再生中に**ナビゲーション▶ボタン**を押すと、『テキスト』の色々な設定ができるコントロールパネルが表示されます。

コントロールパネルの表示を解除するには**ナビゲーション◀ボタン**を押します。



ファイル

内蔵メモリの『テキスト』フォルダ内のテキストファイルを一覧で表示します。ここから『テキスト』フォルダ外のテキストファイル、microSDカード内のテキストファイルに切換えることも可能です。

文字エンコーディング

テキストファイルのエンコードを設定します。

■ **UNICODE / UNICODE Big Ending / UTF-8 / GB18030 / BIG5 / CP949 / CP932 / iso 8859_1 / iso 8859_2 / iso 8859_5 / iso 8859_6 / iso 8859_7 / iso 8859_15 / Windows_1258 / エンコードを自動検出**

ブックマーク一覧

ブックマークの一覧を表示します。**ナビゲーション▲▼ボタン**でブックマークを選択し、**決定ボタン**を押すとブックマークの設定項目が表示されます。

■ **ブックマークに移動**　　ブックマーク部を直接表示します。

■ **ブックマークを設定する**　　ブックマークを設定します。

■ **ブックマークアイコン1**　　ブックマークのアイコン1を設定します。

■ **ブックマークアイコン2**　　ブックマークのアイコン2を設定します。

■ **ブックマークを削除**　　ブックマークを削除します。

行送り

行送りを設定します。

■ **1行送り / 2行送り / 3行送り / 4行送り / ページ送り**

背景

背景を設定します。画像の背景では静止画像を背景に設定できます(P.28 背景画像を設定する参照)。

行のスタイル

行のスタイルを設定します。

■ **黒い実線 / 白い実線 / 黒い点線 / 白い点線 / 濃い色で分離 / 薄い色で分離 / なし**

単色の背景

背景を単色に設定します。

画像の背景

P.28の「ピクチャーの設定」で、「テキストの背景」に設定した静止画ファイルを背景に設定します。

テキスト

テキスト表示を設定します。

テキストの色

テキストの色を設定します。

行間隔

行の間隔を1から16の範囲で設定します。

単語間隔

単語の間隔を設定します。

■ **1 / 3 / 5 / 7 / 9 / 11**

タブの幅

タブの幅を設定します。

■ 0 / 1 / 2 / 4 / 8

テキストサイズ

テキストサイズを設定します。

■ 11×12 / 15×16 / 15×16 ボールド / 23×24 / 23×24 ボールド

自動スクロールスピード

画面を自動でスクロールするスピードの設定をします。1から14の範囲で設定し、数字が大きいほどスクロールするスピードは早くなります。テキストを表示中に**電源ボタン**を押すとスクロールは開始され、再度**電源ボタン**を押すとスクロールは停止します。

クイックジャンプ

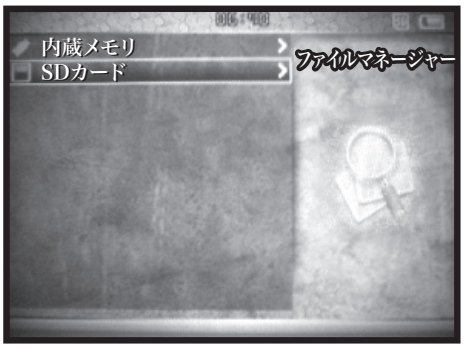
任意のページにジャンプできます。最初のページと最後のページ、10から90までの数字は全体の％を表します。**ナビゲーション▲▼ボタン**で％を選択し、決定ボタンを押すと詳細なページ設定の画面が表示されます。画面の数字は左から「万」、「千」、「百」、「十」、「一」の桁を表します。**ナビゲーション◀▶ボタン**で移動し、**ナビゲーション▲▼ボタン**で数値を選択します。**決定ボタン**を押すとそのページにジャンプします。

ファイルマネージャー

ファイルのコピーや削除、移動は**『ファイルマネージャー』**でおこないます。

ファイルを選択する

①メインメニュー画面で**ナビゲーション◀▶ボタン**を押して『ファイルマネージャー』を選択し、**決定ボタン**を押します(P.18参照)。



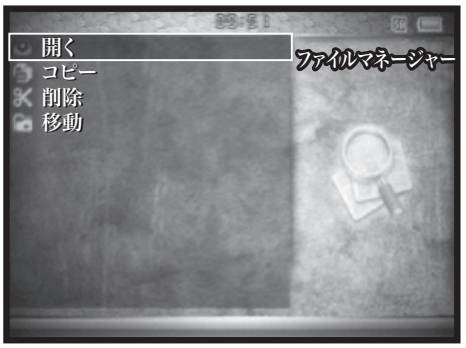
②『内蔵メモリ』と『SDカード』が表示されます。**ナビゲーション▲▼ボタン**でいずれかを選択し、**決定ボタン**、または**ナビゲーション▶ボタン**を押します。

③それぞれに保存されているフォルダやファイルが表示されます。**ナビゲーション▲▼ボタン**でファイルを選択し、**決定ボタン**を押すと選択が確定し、『 ✔ 』のアイコンが表示されます。

◆フォルダは選択できません。

④同様に**ナビゲーション▲▼ボタン**でファイルを選択し、**決定ボタン**を押すことで複数のファイルの選択が可能です。選択を解除するには**ナビゲーション▲▼ボタン**で『 ✔ 』のアイコンが表示されているファイルを選択し、**決定ボタン**を押すと選択は解除されアイコンは消えます。

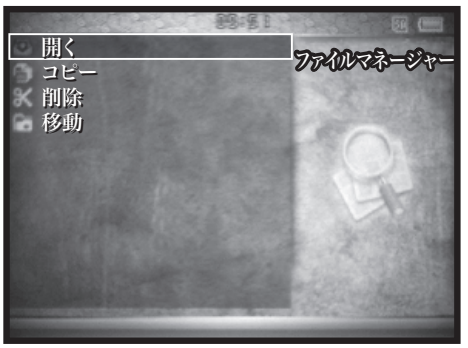
⑤ファイルが選択された状態で**ナビゲーション▶ボタン**を押すとファイルのメニュー画面が表示されます。



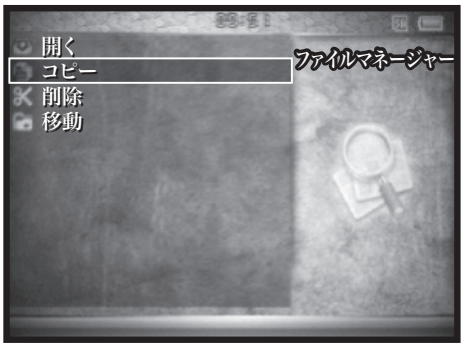
ファイルのメニューでの操作

開く

ナビゲーション▲▼ボタンを押して『開く』を選択し、**決定ボタン**、または**電源ボタン**を押すとファイルの再生を開始します。



コピー



①**ナビゲーション▲▼ボタン**を押して『コピー』を選択し、**決定ボタン**を押すと『内蔵メモリ』と『SDカード』が表示されます。

②コピー先を**ナビゲーション▲▼ボタン**で選択し、**決定ボタン**を押すと確認画面が表示されます。先の階層やフォルダにコピーする場合は**ナビゲーション▶ボタン**を押します。

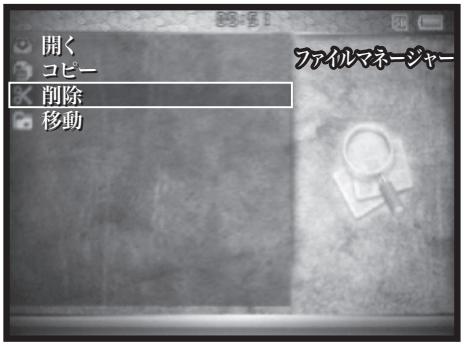
③**ナビゲーション▲▼ボタン**で『決定』を選択し、**決定ボタン**を押すとファイルのコピーが開始されます。『キャンセル』を選択し、**決定ボタン**を押すと解除されます。

◆明るく表示されているほうが選択されています。

④コピーが終了するとファイルの選択画面に戻ります。

削除

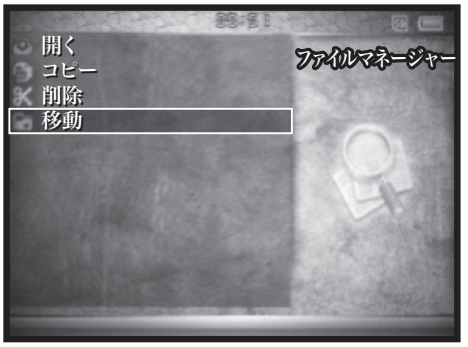
ナビゲーション▲▼ボタンを押して『削除』を選択し、**決定ボタン**を押すとファイルは直ちに削除されます。



移動

①**ナビゲーション▲▼ボタン**を押して『移動』を選択し、**決定ボタン**を押すと『内蔵メモリ』と『SDカード』が表示されます。

②移動先を**ナビゲーション▲▼ボタン**で選択し、**決定ボタン**を押すと確認画面が表示されます。先の階層やフォルダに移動する場合は**ナビゲーション▶ボタン**を押します。



③**ナビゲーション▲▼ボタン**で『決定』を選択し、**決定ボタン**を押すとファイルの移動が開始されます。『キャンセル』を選択し、**決定ボタン**を押すと解除されます。

◆明るく表示されているほうが選択されています。

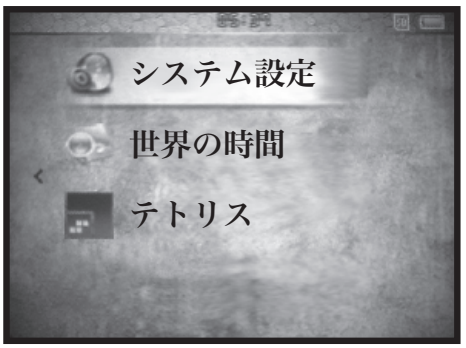
④移動が終了するとファイルの選択画面に戻ります。

○『SYSTEM』フォルダ内のファイルや、各種フォルダ内の設定ファイルは、削除やコピー、移動しないでください。プロジェクターが動作しなくなったり、ファイルを認識しなくなる場合があります。

ツールボックス

プロジェクター本体の各種設定や時計合わせは**『ツールボックス』**でおこないます。

プロジェクター環境を設定する



①メインメニュー画面で**ナビゲーション◀▶ボタン**を押して『ツールボックス』を選択し、**決定ボタン**を押します(P.18参照)。

②『ツールボックス』のメニュー項目画面が表示されます。**ナビゲーション▲▼ボタン**を押して『システム設定』を選択し、**決定ボタン**を押します。

③各種設定の項目が一覧表示されます。設定方法はP.18、メニュー画面の基本操作を参照してください。

○メニュー項目やサブメニューの項目は、設定の組み合わせにより、設定できない項目がある場合があります。

デスクトップ設定

デスクトップの各種設定をします。

背景

デスクトップの背景を設定します。

■ レッドサン / ブルーオーシャン / グリーンライフ / ゴールデンタイム

デスクトップモード

デスクトップの表示を設定します。

■ 標準 / スクロール / 引き出し

デスクトップ時計

デスクトップの時計表示を設定します。

■ **アナログ / デジタル / 世界の時間 / ステータスバー**

タイムゾーンの設定

タイムゾーンを設定します。日本で使用する場合『東京、ソウル』に設定します。

日付時刻

日付と時間の表示方法を設定します。

■ **時間の形式　　時：分：秒 / 午前/午後 時：分：秒**

■ **日付の形式　　年-月-日 / 日-月-年 / 月-日-年**

■ **曜日の表示　　表示する / 日付の前に表示 / 日付の後に表示**

アニメーションの設定

デスクトップのアニメーション効果を設定します。

■ **オフ / カーテン / シェード / ズーム / フリップ / ウェーブ**

起動時の背景を維持する

設定すると再起動時の背景はデフォルトを維持します。

起動オプション

『終了時の項目で起動』に設定すると、再起動時に前回のメニュー項目で起動します。

■ **メインメニューで起動 / 終了時の項目で起動**

自動電源オフ

無操作時に、設定した時間が経過すると電源はオフとなります。

■ **10分 / 30分 / 1時間 / オフ**

スクリーンオフ

無操作時に、設定した時間が経過するとスクリーン投影はオフとなります。

■ 5秒 / 10秒 / 15秒 / 20秒 / 30秒 / オフ

言語の選択

表示言語を設定をすることができます。

システム関数

システムの情報表示や設定、内蔵メモリのフォーマットはここでおこないます。

製品情報

製品の品番、バージョン、内蔵メモリとmicroSDカードの容量、内蔵メモリとmicroSDカードの使用可能容量を表示します。

出荷時の設定に戻す

設定を工場出荷時に戻します。

内蔵メモリフォーマット

内蔵メモリをフォーマットします。フォーマットを実行すると内蔵メモリのファイルは失われます。ご注意ください。

システムのアップデート

本製品では使用しません。

スクリーンテスト

スクリーン投影のアブレーションとカラーレベルを表示します。

世界の時間

世界の時間を表示します。設定方法はP.17「日付/時間の設定」を参照してください。

ナビゲーション◀ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

テトリス

『テトリス』をプレイできます。

決定ボタンを押すとゲームを開始します。**ナビゲーション◀▶ボタン**を押すとブロックを左右に移動します。**ナビゲーション▲ボタン**を押すとブロックを回転します。**ナビゲーション▼ボタン**を押すとブロックを落とします。**決定ボタン**を押すとゲームを終了します。

ナビゲーション◀ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

パソコンと接続する

USBケーブルを使って本機をパソコンに接続すると、本体の内蔵メモリ及びmicroSDカードが、パソコンにリムーバブルディスクとして認識されます。ファイルを取り込む際には、以下の注意事項を必ず守ってください。

守ってください

○ファイルのコピー中は、USBケーブル、microSDカードを絶対に抜かないでください。

○リムーバブルディスク内にあるフォルダおよびファイルの名前は、パソコンで変更しないでください。

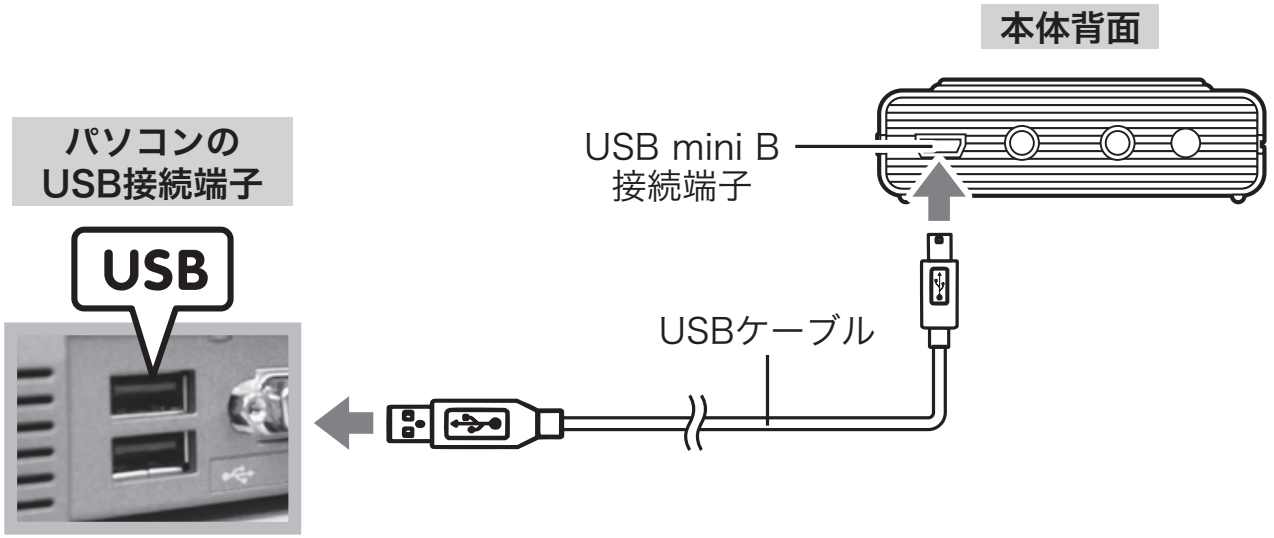
○リムーバブルディスクをパソコンでフォーマットしないでください。

データの取り込み手順

①付属のUSBケーブルでプロジェクター（電源オフ）とパソコン（電源オン）を接続します。

②プロジェクターの電源が自動的にオンになり、画面にUSB接続中の画面が表示されます。

③パソコンがプロジェクターを自動認識します。認識されるまでしばらくお待ちください。



◆USB接続端子が標準装備されたパソコンに限ります。

◆USBハブや、拡張USBボードで接続した場合、プロジェクターを認識しなかったり、エラーメッセージが表示されることがありますのでご注意ください。

◆Windows対応OSは、Windows 2000 / XP / Vista / 7となります。

◆プロジェクターの画面はUSB接続中の画面となります。

○USB接続端子にUSBケーブルを接続する際には、端子の向きに注意してください。間違った向きで無理に差し込むと、端子が破損してしまいます。

接続中は「自動電源オフ」機能(→P.38)は働きません。

以降パソコンでの操作となります。

Windowsでの取り込み

④**[マイコンピュータ]**(Windows Vista / 7の場合[コンピュータ、またはコンピューター])の中に、microSDカードと、内蔵メモリがそれぞれ**[リムーバブルディスク]**※という名前のドライブで表示されます。

⑤**[リムーバブルディスク]**※ → **[リムーバブルディスクの中の各種フォルダ]**の順にダブルクリックして開きます。

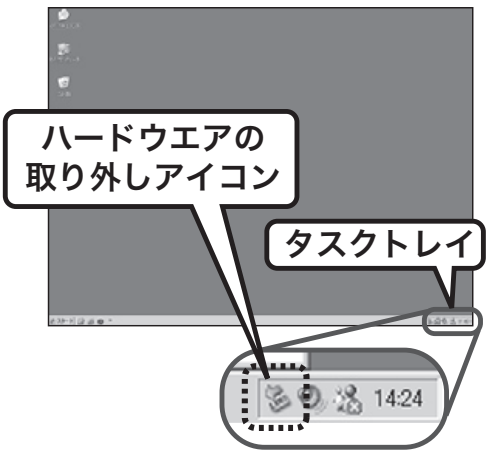
※お使いのパソコン環境により名称が異なる場合があります。

⑥プロジェクターから取り込みたいファイルを選択しパソコンの任意のフォルダ、またはパソコンから取り込みたいファイルを選択しプロジェクターの任意のフォルダに保存(コピー)して、取り込みは完了です。

⑦パソコンとプロジェクターの接続を、以下の手順で正しく接続を外します。

❶[タスクトレイ]の[ハードウエアの取り外し]アイコンをダブルクリックして、該当するドライブを停止します。

❷『安全に取り外すことができます』というメッセージが出てからプロジェクターの接続を外します。



■ Windows Vista / 7で

Windows Vista / 7をお使いの場合、お使いのパソコンの環境・設定により、プロジェクターとパソコンを接続した際に右図の読み込み画面が表示されます。[読み込み]のボタンを押すと、手順④～⑥の操作をせずに、取り込みができます。

◆[オプション]の設定には、読み込み後にプロジェクターのデータを消去する設定がありますのでご注意ください。

テレビと接続する

付属の**AVケーブル**でプロジェクターとテレビを接続すると、プロジェクターの動画ファイルをテレビで鑑賞できます。

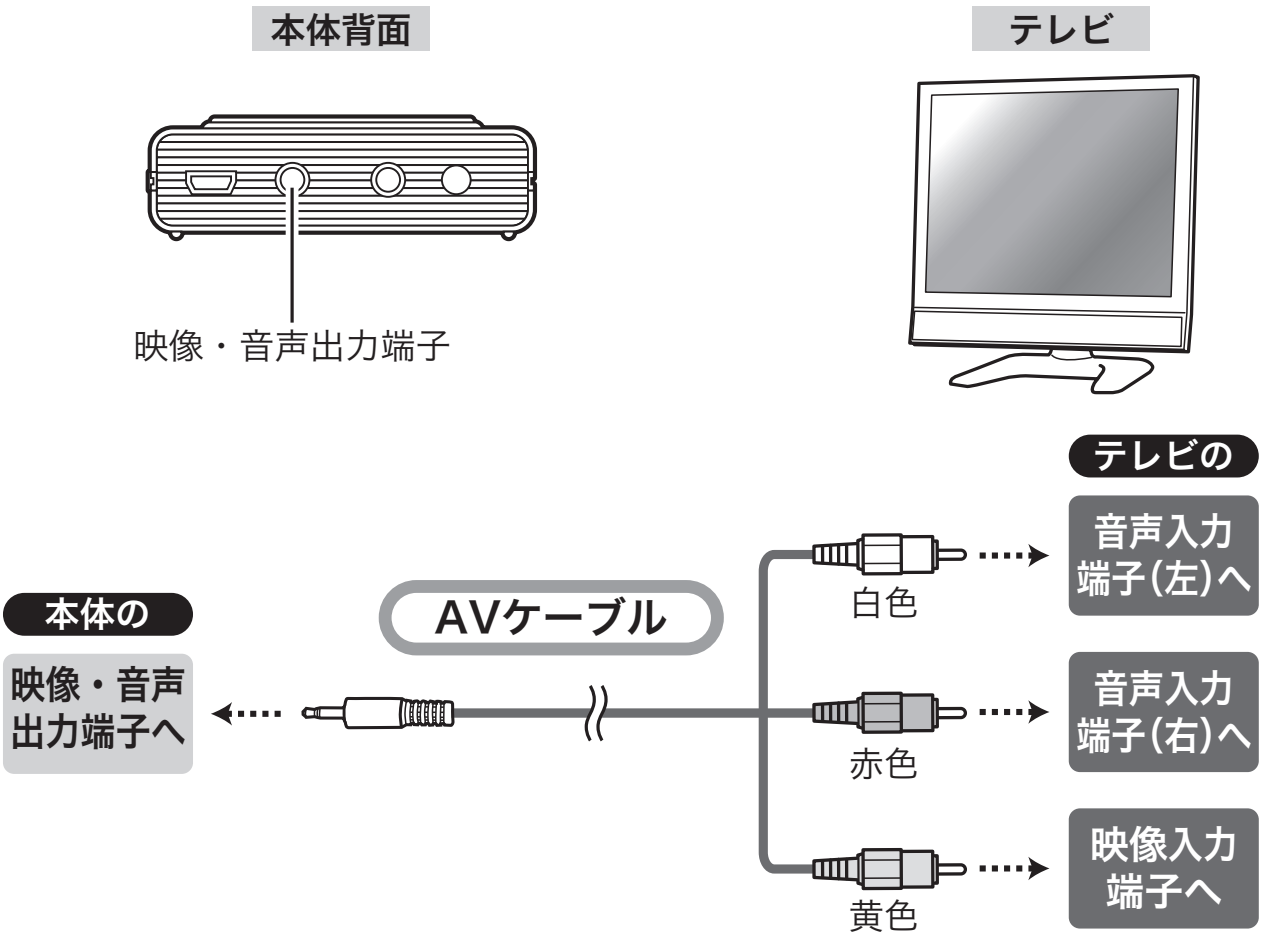
AVケーブルでテレビと接続する

①以下を参照して、本体（電源オフ）とテレビ（電源オフ）を、付属の**AVケーブル**で接続します。

②本体と外部機器の電源をオンにします。

③ビデオプレーヤーの『テレビ出力』を、『NTSC』に設定します（P.21参照）。

④プロジェクターで動画ファイルの再生を開始すると、プロジェクターの画面からテレビの画面に切り換わります。

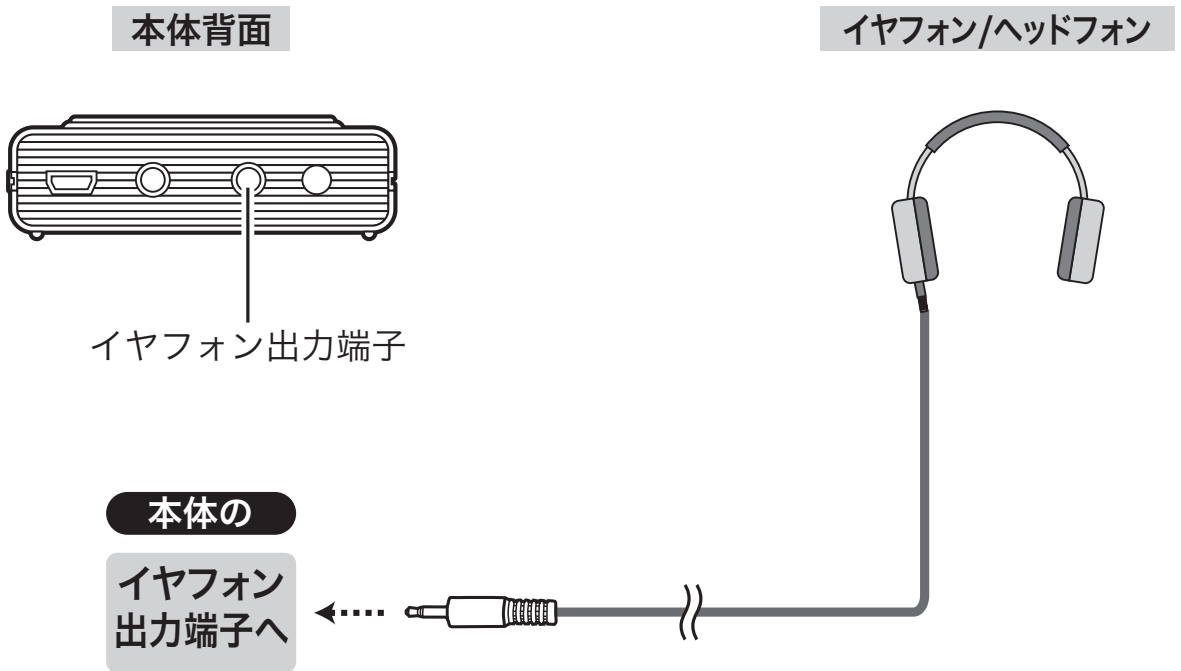


※接続する機器の取扱説明書もあわせてお読みください。

イヤフォンやヘッドフォンと接続する

イヤフォン出力端子にイヤフォンやヘッドフォンを接続して、音声を聞くことができます。

イヤフォン/ヘッドフォンを接続すると、音声は本体のスピーカーから出力しなくなり、イヤフォン/ヘッドフォンからのみ出力するようになります。音量を最小にしてから接続してください。



※接続する機器の取扱説明書もあわせてお読みください。

お手入れ

本製品を長くお使いいただくために、以下の項目を参照して、本製品のお手入れを定期的におこなってください。

レンズのクリーニング

レンズは常に清潔に保ち、汚れなどがついたら、糸くずのついていない柔らかい布を使って、レンズを拭いてください。

プロジェクターのクリーニング

プロジェクター本体の電源を抜いて、糸くずのついていない柔らかい布を使って、プロジェクターを拭いてください。汚れが目立つ場合は、わずかに湿らせた布で拭いてください。アルコールやベンジン等の科学薬品を使わないでください。本体が変色したり、歪んだりするおそれがあります。

トラブルシューティング

故障と思われたら、もう一度確認・点検してみましょう。

Q. プロジェクターの電源が入りません。

A. ○コンセントが使用可能かご確認ください。

○AC電源アダプターがコンセントやプロジェクターに正しく接続されているか確認してください。

○内蔵充電池を充電してください。

Q. プロジェクターが操作を受け付けません。

A. ○**リセットボタン**を押して、再起動してください。

Q. 映像が表示されません。

A. ○microSDカードが正しく接続されているか確認してください。

○再生可能なファイルか確認してください。

Q. テレビに正しく表示されません。

A. ○テレビとの接続が正しくされているか確認してください。

○『テレビ出力』が『NTSC』に設定されているか確認してください。

Q. 再生が始まらない。

A. ○本製品で再生できないファイルの可能性があります。ファイルの種類を確認してください。

○microSDカードが正しくセットされていますか？ 確認してください。

○静電気やノイズなどの影響により本製品が動作しなくなっている可能性があります。電源を入れ直すか、電源プラグを抜き、もう一度差し込んでみてください。

Q. 画像がぼやけている。

A. ○**ピント調節レバー**を左右に動かして、ピントを調節してください。

Q. microSDカードが認識されない。

A. ○microSDカードをもう一度入れ直してください。

○microSDカードが損傷している場合は、microSDカードを交換してください。

製品の仕様

ディスプレイ技術	LCOSディスプレイ
内蔵メモリ※1	2GB
外部メモリ※2	microSD：128MB～2GB/microSDHC：4GB～8GB
対応ファイル形式	動画　：RM/RMVB、WMV、FLV、AVI、MP4、MPEG2、3GP、DAT、ASF　720pサポート 静止画　：JPEG、BMP、GIF、PNG　1000万画素まで 音声　：MP3、WMA、APE、FLAC、AAC、AMR、M4A、RA、OGG、WAV テキスト　：TXT
解像度	320×240ピクセル
輝度	10ANSIルーメン
光源	LED
アスペクト比	4：3
コントラスト比	200：1
投影画像サイズ(対角)	約17.78cm ～ 127cm(7 ～ 50インチ)
投影距離	約0.3m ～ 2.5m
投影レンズ	9mm　マニュアルフォーカス
ランプ寿命	20000時間
スピーカー出力	1×1W
出入力端子	映像・音声出力端子、イヤフォン出力端子、 USB mini B接続端子、microSDカードスロット
電源	DC5V、1A　AC100-240V、50-60Hz 内蔵充電池(リチウムイオン)
充電池駆動時間※3	約1.5時間
消費電力	2.5W
使用環境	温度：0 ～ 40℃ 湿度：20 ～ 70%(結露なきこと)
重量	約80g
外形寸法	(幅)53mm×(高さ)15mm×(奥行)104mm(付属品除く)

○すべてのデータは、当社測定条件によります。都合により記載内容を予告なしに変更することがあります。

※1 内蔵メモリはシステムとして使用する部分もあり、搭載しているメモリのすべてを記録に使用できるわけではありません。

※2 microSD/SDHCカードは、種類、メーカー、ブランド、また使用状況により対応できない場合があります。

※3 製造日までの保存期間、また使用状況により、電池性能に差が生じ、駆動時間が記載より短くなる場合があります。本仕様はあくまでも目安としてご参考ください。

パソコン接続環境

下記OSがプリインストールされ、USBインターフェース（USB1.1 または2.0）が標準装備されていること。

Windows
Windows 2000 / XP / Vista / 7

接続環境を満たすパソコンの中でも、一部機種の設定や構成により正常に動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。

○Windows Vista 32bit/64bit、Windows 7 32bit/64bitに対応します。

○上記以外のOS、アップグレードしたOS がインストールされているパソコンについては、動作保証致しません。

○USBハブ、拡張USBボードを経由した接続での使用、自作機や改造したパソコンについては動作保証致しません。

アフターサービス

■保証書の記入事項

本製品のパッケージには、保証書が同梱されております。保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください（保証書には保証規定が記載されていますのでよくお読みください）。

■修理をご依頼の前に

本取扱説明書の**トラブルシューティング**をよくお読みいただき、それでも解決しない場合には下記事務局までご相談ください。

製品に関するお問い合わせ

エグゼモード サポートセンター ☎0570-036-036

受付時間 **10:00～17:00**
（土、日、祝祭日および当社指定休業日を除く）

メールアドレス　**support@exemode.com**

ホームページアドレス　**http://www.exemode.com**

修理受付専用ダイヤル

☎03-3780-0011

受付時間 10:00～12:00、13:00～17:00
（土、日、祝祭日および当社指定休業日を除く）

※修理受付専用ダイヤルでは、製品に関するお問い合わせは受け付けておりません。

■サポートセンターからのお願い

○通話中の場合、しばらく経ってからおかけ直しいただけますよう、お願い申し上げます。

○年末年始などのサポートセンター休業日には、お客さまへのご対応ができない場合がございます。

※本製品に関するお問い合わせ、およびサポート、サービスについては日本国内限定とさせていただきます。

■商標について

Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Macintoshは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
その他、記載のシステム名、製品名および会社名は各開発メーカーの商標または登録商標です。

※本書の内容を無断で転載や複写をしないでください。
※記載の外観および仕様は改良のため予告なく変更することがあります。
※本書の記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。
※当社では常に製品の品質の改善を行っており、お客様のご購入時期によりましては同一製品の中にも多少の差があるものがございますがご了承ください。
※本書の内容につきましては、将来予告なしに変更することがあります。